

せせらぎ



令和2年12月 2日発行 No.6

師走を迎え、寒さもひとしお身にしみるようになりました。

今回は、5年生の国語の様子をお伝えします。教科書からアンパンマンの作者「やなせたかし」さんの生き方や考え方が表れている言葉を見つけ、自分の生き方に取り入れたいところを考えていきます。また、年表を作り「やなせたかし」さんの生涯についてまとめます。年表を作るときに必要な事は何か、みんなで考えます。さあ、2の場面の学習が始まりました。

校内研究授業 11/27(金)

5年国語「伝記を読み、自分の生き方について考えよう」

指導者

ねらい「登場人物の年表を書く学習を通して、語句の係り方や語順を考えて書くことができる。」



つかむ

1. 「めあて」をもとめよう
2. 「見通し」をもとめよう



句読点ごとに交代で読んだ後、めあてを考えました。

めあて
「年表を作るのに、必要なものは？」

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう



「いつ(数字・西暦)」が分かるところを○で囲みました。たくさん見つけました。



班になって相談し、必要なものだけに絞り込み、簡単な文を考えました。

まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう



班ごとに発表し「西暦」「どこ」「どうした」などを確認しました。



最後にキーワードを使って、今日のまとめをしました。

児童は、年表を作るときには「いつ・どこ・どうした」を入れ、言葉の順番に気を付けて書くということを理解することができました。

授業研究会では、「年表を作るときに必要なことを、教科書を基に一生懸命探していた。また、「いつ・どこ・どうした」を入れ、簡単な文章を書くことができていた。」という意見が出されていました。